

憲法案反對運動經過報告

諸君!

支配階級が我等無産階級に挑戦せる。治安維持法案は衆議院の特別委員会にて審議中である。政府はこの憲法に對して諸君の反對を恐れず、ブルジョア諸政党掩護のもとに、一氣呵勢に議會の通過を策し、昇平方にも天下を偽瞞して突如、憲法案を議會に提出したので、これに應戦して都下労働組合憲法反對同盟、政治研究會が反對運動を起して、から慌に月餘にもなるが、憲法案の運命は、數日中に決する筈であるから最後の努力によつて、捷利を無産階級の手に握るべきはならぬ。

是、に反對運動の概要と憲法案をめぐる院内の情勢を述べ、諸君に訴へる。

14.3.5
第 67 号

憲法反對の第一聲をあつたのは一月三十日の関東労働組合會議であつた。都下各労働組合の憲法反對同盟の成立したのも此の日であつた。同盟は一日反對の決議を發表し、これに理由書を添えて「萬國の無産階級に訴へる」檄文を、欧米の各労働組合に送り、四日から行動を開始して、各大臣、諸政黨の議員、訪問隊が出勤し、五日には協調會に大演説會を催した。この訪問隊は諸政黨の議員を説伏して連日同盟本部に凱歌をあつて帰つた。この九日には、一會、これを組織化し、十一日の一大示威運動の前後、續襲を試みたが、東京にあつた憲法反對の炬火は、此のとどろき、全國に延焼した。